

「足立区文化・読書・スポーツ分野計画 素案」に関するパブリックコメントの
実施結果及び意見に対する区の考え方について

1 パブリックコメントの状況

(1) 実施期間

令和5年11月25日(土) から令和5年12月24日(日) まで

(2) 意見提出数など

ア 意見提出者数(件数) 5名(21件)

イ 提出方法

(ア) 窓口への持参 0名

(イ) 郵送 0名

(ウ) ファクシミリ 0名

(エ) 区ホームページの意見受付フォーム 5名

2 意見の構成

番号

(1) 3つの計画に共通する意見 4件

- ア イベント・事業について . . . 1～3
- イ 施設利用について . . . 4

(2) 足立区文化芸術推進計画に関する意見 0件

(3) 足立区読書活動推進計画に関する意見 14件

- ア 読書環境の整備について . . . 5～7
- イ 施設整備について . . . 8～9
- ウ 子どもの読書について . . . 10
- エ 学校図書館について . . . 11
- オ 図書館サービスについて . . . 12～17
- カ ニーズ把握について . . . 18

(4) 足立区運動・スポーツ推進計画に関する意見 0件

(5) その他 3件

- ア その他 . . . 19～21

3 意見の概要及び区の方考え方

(1) 3つの計画に共通する意見 4件

番号	寄せられた意見の概要	区の方考え方
ア イベント・事業について		
1	イベント周知はあだち広報に載せて欲しい。若い働き世代の多くは区のホームページやFacebook、地域学習センターの発行紙はほぼ見ていない。あだち広報には名称と日時、QRコードとしてもよい。	イベントの周知については、現在、あだち広報や区ホームページ、地域学習センターの発行紙のほか、イベント実施施設の指定管理者が管理するホームページやLINE、インスタグラム等でも発信しています。 あだち広報へのイベントの掲載については、紙面のバランスやスマートフォン等の電子媒体を持たない方が一定数存在することにも留意しながら、掲載すべきイベントや内容を精査してまいります。
2	イベント内容は、専門家の力を借りてもう少し面白い企画で区民の興味をそそるレベルの高い企画をお願いしたい。地域宅習センター等が単独でイベントを実施しても決まった人だけの参加に留まり、多くの区民に役立つ情報提供まで至っていない。小中学校で授業の一環として参加者を増やす開催方法や、町内会のお祭りや区民まつり、地域企業とのコラボなど、もう少し煮詰めたイベントを企画して、区民だより ^{※1} に載せる必要がある。 ^{※1} あだち広報のこと。	区の生涯学習関連施設では、指定管理者制度を取り入れ、民間のノウハウを活用した企画を実施しております。今後は、ご提案の手法も参考にさせていただきながら、区民向けアンケート調査や世論調査等に関心の高いテーマを把握し、より質の高い企画を研究していくとともに、講座ごとに実施する利用者アンケートにて満足度やニーズを測ることで、質の向上を図っていきます。また、計画的にあだち広報に掲載するなど、周知にも力を入れていきます。
3	総合スポーツセンターやギャラクシティにスポーツ選手や元オリンピック選手をお招きしてスポーツクリニックをしたり、同時に健康や食育のカルチャーを開催するとよい。	総合スポーツセンターなどのスポーツ施設では、毎年度オリパラレガシー事業としてオリンピック出場選手等を講師に招いたスポーツ教室を開催しています。引き続きこれらの事業を実施していくとともに、健康や食育についても学べる機会を検討していきます。
イ 施設利用について		
4	学習センターを利用しやすい運営方法をお願いしたい。高齢者の集まる場所と化しているところが多く、若者の利用率を高める工夫が必要と感じる。	学習センターは高齢者だけでなく幅広い年齢層を対象に、生涯学習の講座等を実施し区民の自主的学習活動を支援しています。 現在、日中働く若い方をターゲットとした平日夜間の開催が少ないことから、今後、各種行事等でのアンケート調査により、開催日時の検討やニーズを捉えた魅力ある講座を実施することで、若い方の利用率を高めていきます。

(2) 足立区文化芸術推進計画に関する意見 0 件

(3) 足立区読書活動推進計画に関する意見 14 件

番号	寄せられた意見の概要	区の考え方
ア 読書環境の整備について		
5	学校図書館のデジタル化を行う際には、地域の書店組合を通じて電子図書館を整備してほしい。	電子書籍の販売は、現在顧客に対して出版社が直接販売する仕組みとなっています。
6	足立区内の書店も電子図書館に参画できるようお願いしたい。	公共図書館向けの電子書籍提供サービスの市場への参入は、民間企業がそれぞれの経営の中で判断すべきものと考えます。
7	公立保育園、区立こども園、こども支援センターげんき等で本を購入する場合、区内の書店から定価で購入いただきたい。	区内事業者から購入できる図書については、区内事業者優先で購入しています。限りある予算を最大限に活かして必要となる図書を揃えていくためには、一定程度の割引は必要と考えています。
イ 施設整備について		
8	足立区では図書館の適正な数についての基準がないにも関わらず、計画では「足立区には図書館が15館あり図書館数は充足している」と明言されている。 近隣5区との比較を行ったところ、1平方キロメートルあたりの図書館数で足立区は6位、最低順位となっている。 また、日本図書館情報学会によれば、「図書館からの直線距離が1キロメートルを超えると、利用者は急速に減少していく」とされている（「図書館情報学用語辞典 第5版」より）。 足立区のオープンデータをもとに足立区内の各住所（264か所）から図書館までの距離と住人の人数との関係を分析した結果、約5割の足立区民は自宅から図書館までの距離が1キロメートルを超えていた。 これらの現状がありながら「図書館は充実している」と認識しているのは問題があるのではないかと。	足立区でも、昭和50年代後半以降、おおむね半径1キロメートルに1館を目安として、区内13ブロックに各1館の図書館の設置を進めてきました。現在、区立図書館は15館あり、駅近くの公共施設等を利用した図書受渡窓口も7か所設置しています。以上を踏まえ、区全体では図書館数は充足していると考えます。 区民の読書に対する関心を高めるため、引き続き図書館サービスの向上は図ってまいります。現時点では新たに図書館を設置する予定はありません。 なお、東京都が特別区との間の財源の均衡化を図るために特別区に交付する「特別区財政調整交付金」の算定にあたっては、人口35万人の区に対して図書館数は7館（中央館1館、地域館6館）が想定されています。この基準を人口約69万人の足立区にあてはめると、必要な図書館数は14館となります。

番号	寄せられた意見の概要	区の考え方
9	図書館、体育館の保全改修について、図書内容の見直し、明るさ、受験勉強に利用しやすい席数増加など環境づくりを検討してほしい。	図書の内容については、学識経験者をはじめとする専門家などによる会議体を新たに設置し、外部の意見も取り入れることで、さらなる充実を図っていきます。 明るさについては、定められた基準を満たしていることを確認しておりますが、より明るくというご要望を踏まえて、適宜改善を図っていきます。席数増加については、施設の大規模改修の機会を捉えて検討していきます。
ウ 子どもの読書について		
10	中学生以上への読書支援が不十分と感じる。せっかく幼児期から小学生までに身に着けた読書習慣を持続させるためにも、中学生に対する支援を充実してほしい。	中学生への読書支援については、学校司書等への研修や学校図書館スーパーバイザーの巡回指導により、生徒が利用しなくなる学校図書館づくりに取り組んでいます。 また、子どもは身近な人から薦められて本に興味を持つことも多いため、中高生向けの図書情報誌で中学校図書委員のおすすめ本を紹介するなど、引き続き有効な方法を検討していきます。
エ 学校図書館について		
11	学校図書館を活用した読書推進や学習指導には、司書教諭が不可欠。授業と授業以外での読書活動につながりもたせるため、司書教諭と学校司書が協働しやすい体制づくりを目指す等、支援策を検討してほしい。	学校図書館を読書活動及び学習活動で効果的に活用するためには教員の積極的な関わりが不可欠と考えています。そのために、教員向け研修や利活用推進校を中心としたスーパーバイザーの授業支援を行い、教員が目的をもって学校図書館を活用することが出来るよう取り組んでいるところです。 あわせて、教員・学校司書それぞれの役割や協働の方法についても研修や巡回指導等で機会を捉えて指導・助言を行っていきます。

番号	寄せられた意見の概要	区の考え方
オ 図書館サービスについて		
12	新聞記事データベース（朝日けんさくくん等）や辞書・事典系の電子データベース（ジャパンナレッジLibやSagasokka!等）を学校図書館や公共図書館で利用できるよう、環境整備を目指して頂きたい。	小・中学校においては、まずは子どもたちが学校図書館で図書等の資料を使った学習方法を身に付けられるよう、図書や書架などを入れ替え、使いやすい魅力的な図書館環境を整備することに加え、児童・生徒がタブレットから自校の蔵書を検索できるクラウド型システムの導入を進めていきます。あわせて、研修や学校図書館スーパーバイザーの巡回による助言・指導により、教員・司書への活用支援を進めていきたいと考えています。現在、小・中学校の調べ学習の実施にあたってはICT機器を用いたウェブ検索の活用も進めているところですが、電子データベースの活用についても、他自治体等における情報を収集しながら研究を進めていきます。
13	児童館や住区センターの一面を図書館の分室として活用することはできないか。	区内には15館の図書館と7か所の図書受渡窓口があり、現時点では、児童館や住区センターの一面を図書館の分室として活用する予定はありません。児童館については、令和3年度から区立図書館による図書配送サービスを実施しているため、今後はPRを強化し、利用促進を図っていきます。
14	大学図書館との相互利用についても連携できないか。	令和6年2月現在、区内大学のご協力により、3つの大学で区民を対象に大学図書館の区民開放を実施しています。 また、大学図書館のみで所蔵している資料の閲覧を希望する方に、区立図書館で大学図書館への紹介状の発行を行っています。資料の相互貸借については、現在は実施していませんが、大学と協議の上、実施の可否を検討していきます。
15	住区センターを図書受渡窓口として活用できないか。	住区センターを図書受渡窓口として活用することについては、窓口設置の費用対効果を検証の上、必要性を検討していきます。
16	図書館併設でない単独のブックポストについて、増設を希望する。返却しやすい環境は利用率の向上に直結する。	ブックポストについては、利用者の利便性及び図書の返却率の向上のため、令和5年度中に商業施設3か所への設置を目指しています。その他の場所の設置については、新たに設置したブックポストの利用状況を分析のうえ、検討していきます。

番号	寄せられた意見の概要	区の考え方
17	図書館からのコミュニケーションとして、新刊の紹介などのアプローチがほしい。	新刊の紹介については、あらかじめ条件を登録しておくことで、その条件に合う本が所蔵されたことを毎週日曜日にメールでお知らせする「新着図書お知らせメールサービス」を実施しております。今後は、メールの発信頻度を増やすなど、利便性の向上について検討していきます。
カ ニーズ把握について		
18	区民アンケート※ ² について、「図書館を利用する目的は何ですか」という問いで「図書館を利用していない」が44.1%と最も多い。次回実施の際には、その理由を掘り下げてほしい。 ※ ² 令和3年度に区民を対象に実施された「文化・読書・スポーツに関するアンケート」のこと。	ご意見を踏まえ、「図書館を利用しない理由」が確認できるよう、次回アンケートでは質問の仕方を工夫していきます。

(4) 足立区運動・スポーツ推進計画に関する意見 0件

(5) その他 3件

番号	寄せられた意見の概要	区の考え方
ア その他		
19	足立区の施設予約サイトを使いやすくしてほしい（部屋の定員表示、予約画面での日程に曜日を追加、1週間単位での表示）。	施設予約システムにつきましては、令和7年度に予定しているシステム更新の中で、部屋の定員表示等を取り入れるよう検討していきます。
20	他区と比較して、足立区民はまだまだ健康への意識は低い傾向にあります。子どもたちだけでなく、親世代を教育することが急務と感じます。	健康に関しては、区ではこれまで「子どもの頃からの良い生活習慣の定着」を目指して、子どもたちへの取り組みを進めてきました。今後は、保護者世代に対する生活習慣改善に向けた周知啓発や複合施設やスポーツ施設などでの体を動かす取り組みなども検討していきます。また、家庭や仕事に忙しく自らの健康行動を実践しにくい保護者世代に対し、本人が意識せずとも自然と健康行動が取れるよう、野菜を食べやすい環境づくりや運動しやすい環境の整備を進めてまいります。

番号	寄せられた意見の概要	区の考え方
2 1	若い世代が住区センターを利用したくても、区役所職員の研修で予約しづらい状況にあり、利用率の低下に繋がっています。	一部の住区センターにおいては民生委員の会合で会議室を使用する場面があることは確認していますが、区職員の研修で使用することはありません。なお、コロナ禍においては庁舎ホールや会議室で感染対策業務を行っていたため、区の職員研修や会議等を一部学習センターで行っていました。現在は庁舎内で実施されるようになってきましたが、今後、より多くの区民が利用できるよう検討していきます。